

平成20年度 横浜市保土ヶ谷区生活支援センター事業報告

精神障害者通所による創作的活動又は生産活動の機会の提供、日常生活の支援及び相談支援、地域交流の促進等を行い、精神障害者の社会復帰と自立及び社会参加の促進を図るとともに、精神障害者に対する理解の促進を図った。また、事業を実施する上で欠かせない地域関係機関や住民との連携の構築を図った。

A 施設概要

- (ア)設置主体 横浜市
- (イ)運営主体 社会福祉法人 横浜市社会事業協会
- (ウ)所在地 横浜市保土ヶ谷区川辺町5-11
- (エ)建物 鉄筋コンクリート造 4階建の4階部分
- (オ)延床面積 572.14㎡
- (カ)開所年月日 平成15年2月2日
- (キ)休館日 毎月第4月曜日
- (ク)開館時間 午前9時から午後9時
- (ケ)指定管理者の指定 平成18年4月1日から平成23年3月31日まで
- (コ)職員配置 10名(常勤職員5名、非常勤職員3名、常勤アルバイト2名)
嘱託医:2名 調理アルバイト7名

B 事業概要

- (ア) 地域活動支援センター事業
- (イ) 相談支援事業

登録者数

H20年度	822名	男	553名
		女	269名
H19年度	792名	男	541名
		女	251名

- (ウ) 自立生活アシスタント派遣事業

C 施設の運営

- (ア)地域で生活する精神障害者の生活に密着した相談や疾病、制度の事など内容に応じてきめ細かな支援を行った。また、保土ヶ谷地域活動ホーム「ゆめ」との連携によ

り、緊急時の夜間利用など相互利用が可能になるなど利用者支援の幅が広がった。

(イ) 利用者の安定した地域生活の継続のため、自宅や作業所への訪問を積極的に行った。また、必要に応じて通院に同行するなど利用者の居宅生活を支えた。

(ウ) ボランティアの育成

保土ヶ谷区福祉保健センター、保土ヶ谷区社会福祉協議会とボランティア講座を共催し、ボランティアの育成と啓発に協力した。

(エ) 家族支援

保土ヶ谷区家族会「たちばな会」の活動に協力し、家族定例会への出席等で情報交換するなど相互理解を深めた。また疲弊したり問題を抱えた家族への支援を視野に入れ、家族の相談窓口としての機能を果たした。

家族会未加入の家族や入会后間もない家族を対象とした家族教室を、区福祉保健センターとの共催で開催し、多くの参加者があった。

(オ) 関係団体との協働

日頃から保健・福祉・医療等の他機関との連携ネットワーク構築に取り組み、地域で生活する精神障害者一人一人に合った支援の方法や社会資源を検討した。

(カ) 地域との交流

市立桜ヶ丘高校生を交えてお茶会の催しや、かるがも全事業所で実施した「夏祭り」は多くの障害者と地域住民との交流の場となった。また、ソフトボールは広く地域の作業所や在宅の精神障害者を集め、毎月実施日を待たれる事業となっている。

地域交流事業

年度	事業数	実施回数	参加人員
H20年度	13	18回	1916名
H19年度	17	29回	3396名

(キ) 苦情解決

利用者からの苦情や相談について、毎月1回、第三者委員と苦情解決責任者(所長)及び関連職員が連携し解決にあたっている。

第三者委員 石渡和実: 東洋英和女学院大学教授

田村綾子: 日本精神保健福祉士会常任理事

20年度の苦情件数とおもな内容

年度	苦情/相談件数	主な内容
H20年度	苦情 19 件 (内16件はセンターのみで 解決) 相談 4 件	他利用者の衛生面や言動、職員の対応について等 生活の中での不安、障害や病気の症状、就労について等

* 尚、苦情・相談がない場合は、フロアにて利用者との交流を図っていただいた。

D 利用者へのサービス

(ア) 日常生活相談

住居や就労・公的制度の利用に関する事など、日常生活に関する相談に対して電話や面接により利用者のニーズを明確にして適切に対応した。また、嘱託医による相談(予約制)を毎月一回行った。

利用状況

		平成 20 年度			平成 19 年度		
		男性	女性	計	男性	女性	計
来場者数	実数	9281 名	3820 名	13101	8608	3308	11916
電話相談件数	実数	7858 名	5518 名	13376	5591	4374	9965
面接相談件数	実数	1289 名	452 名	1741	997	429	1426
同行訪問数	実数	32 名	28 名	60	47	21	68
※非構造面接・その他	実数	3062 名	1963 名	5025	3900	1157	5057

※ 非構造(化)面接・・・ 一般的に、自由応答式質問形式でおこなれ、カジュアルで自然な相互関係を重要視し、話しやすい雰囲気を保てるように、フォーマルな場に限られることなくプライベートな場など、対象者が落ち着ける場所を利用したりする。

(イ) 食事・入浴・洗濯サービス

毎日の夕食や入浴、洗濯サービスを提供することで、安定した生活のリズムを作り、当事者同士の交流の場ともなっている。

(ウ) 生活情報の提供・インターネットサービス

社会生活の経験が少なく、生活上必要な情報を得られにくい利用者に、センター
便りや掲示板等で情報を提供した。

ホームページを適宜更新し、リアルタイムに情報を提供した。

各種サービス

		平成 20 年度			平成 19 年度		
		男性	女性	計	男性	女性	計
夕食サービス	実数	6126 名	3084 名	9210 名	5576 名	2876 名	8452 名
入浴サービス	実数	541 名	94 名	635 名	705 名	222 名	927 名
洗濯サービス	実数	159 名	65 名	224 名	173 名	66 名	239 名
インターネットサービス	実数	97 名	26 名	123 名	27 名	12 名	39 名

(エ) 自主グループ活動の支援

メンバーミーティング、将棋サークル、アートサークル、パソコンサロン、麻雀サークル、シネマデイ等、その他適宜状況に応じ毎月実施している。

年度	事業数	実施回数	参加人員
H20年度	25	106回	889名
H19年度	22	125回	919名

(オ) センター行事実施状況

4月 花見(帷子川沿い散策)

5月 カラオケ box

6月 お茶会(市立桜ヶ丘高校茶道部の参加による。)

7月 スポーツデイ軽スポーツ(近所の公園を利用してバドミントン、フライングディスク等で汗を流す。)

8月 精神医療サバイバー「広田さんを囲む会」

かるがも「夏祭り」共催

9月 カラオケ box

11月 バスハイク

12月 音楽会

クリスマス会(ほどがやネットワークの会と共催)

1月 新年会餅つき

2月 バスハイク 家族会との共催(油壺マリンパーク・津久井いちご狩り)

3月 ボーリング(ラ・ポール)

(カ) 利用者の声の反映

センター職員と利用者との意見交換の場としてメンバーミーティングを実施し、利用者からの意見を受け容れ、サービス向上のためセンターの運営に生かした。

E 自立生活アシスタント事業

家庭の事情で突然一人暮らしになってしまった人、入院生活から退院により一人暮らしになる人、その他さまざまな事情を抱えながら地域生活を継続したいと願う精神障害者のために、生活の全般にわたる相談、生活支援を行った。生活支援センター全体で支える体制を整えたことで、自立支援アシスタント事業と契約を結んだ利用者の大半が登録を経てセンター利用へと繋がっている。

F 職員研修

- (ア) 職員の資質向上のため、各種団体が実施する研修に職員を派遣し、すべての職員が必要な研鑽を積めるように配慮した。54件の研修に対し、延べ110名が参加した。
- (イ) 事業所内研修として「個人情報保護」に関する研修を実施し、個人情報取扱特記事項を遵守し個人情報を適切に取り扱うことを誓約した。

平成20年度
横浜市精神障害者生活支援センター指定管理料決算書

施設名:横浜市保土ヶ谷区生活支援センター

運営法人:社会福祉法人 横浜市社会事業協会

科目	予算額	決算額	差引増減	内 訳・説明
人件費	40,765,000	36,470,832	4,294,168	
施設管理費	4,816,000	4,798,322	17,678	
光熱水費	2,897,000	2,634,912	262,088	電気:1,064,347円 ガス:672,174円 水道:898,391円
庁舎管理委託料	2,039,000	2,264,280	-225,280	公共建築物設備点検等:971,896円 定期清掃・日常清掃:1,039,500円 機械警備:252,884円
入浴・洗濯サービス等実費徴収額光熱費充当分	-120,000	-100,870	-19,130	入浴サービス 63,500円 洗濯サービス 22,400円 インターネットサービス 14,970円
運営費	2,846,000	2,890,254	-44,254	
旅費	120,000	211,310	-91,310	一般旅費:211,310円
一般物品	557,000	658,960	-101,960	事務用消耗品費:656,981円 その他:1,979円
印刷製本費	200,000	108,528	91,472	
修繕費	100,000	170,451	-70,451	
役務費	371,000	542,601	-171,601	切手代:184,965円 振込手数料:91,473円 電話料:266,163円
借料損費	410,000	359,730	50,270	保守:160,650円 パソコンリース他:199,080円
備品費	500,000	349,409	150,591	各種行事用:229,049円 新聞:120,360円
施設賠償保健	188,000	185,000	3,000	全精社協総合保障制度C1タイプ
雑費	400,000	304,265	95,735	各種会費:92,000円 研修参加費:162,070円 渉外費他:50,195円
				H20年度戻入金額
総計	48,427,000	44,159,408	4,267,592	4,294,168